

吉野宮滝万葉整備プロジェクト



▲宮滝遺跡 調査区全景

事業の目的

飛鳥～奈良時代に多くの天皇が訪れた吉野宮。その比定地・宮滝遺跡について、調査でわかったことを見える化し、同時に『万葉集』の景色を楽しむ憩いの場所として整備します。吉野の文化をもりあげるべく、遺跡の活用と保全にとりくむことを目的としています。

事業概要

宮滝集落の南西部にあたる場所を、遺跡公園として整備します。この場所は、平成30年度に吉野宮の中心的な建物とみられる大型建物跡を確認した場所にあたります。現在は埋めもどされて見ることができない遺跡の姿を、見える化して看板などで解説し、周辺の景色とともに楽しんだり、イベントなどが開催できる公園として整備をします。

寄附の使い道

事業費 387,421千円

- ・公園の工事内容を設計するためにつかいます。
- ・公園整備工事を行うためにつかいます。
- ・宮滝遺跡の魅力を発信するためにつかいます。

ベネフィット

- ・吉野町広報誌、ホームページに掲載
- ・宮滝遺跡に設置の立て看板に掲載
- ・吉野杉の特製感謝状贈呈※
- ・感謝状贈呈式およびプレスリリース※

※条件があります

etc.

